

ウィーン・リング・アンサンブル

Wiener

Ring-Ensemble

ニコライ：オペレッタ「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲

Otto Nicolai: "Die lustigen Weiber von Windsor" Overture

J.シュトラウス2世：ワルツ「南国のぼら」

Johann Strauß II: "Rosen aus dem Süden", Walzer

J.シュトラウス2世：オペレッタ「こもり」から カドリーユ

Johann Strauß II: Quadrille von "Fledermaus"

ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・マズルカ「とんぼ」

Josef Strauß: "Die Libelle", Polka Mazur

レハール：ワルツ「金と銀」

Franz Lehar: "Gold und Silber", Walzer

J.シュトラウス2世：ポルカ・シュネル「狩り」

Johann Strauß II: "Auf der Jagd", Polka schnell

プッチーニ・メドレー (没後100年記念)

Puccini Medley (The 100th anniversary of Giacomo Puccini's death)

ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ「水彩画」

Josef Strauß: "Aquarellen", Walzer

J.シュトラウス2世：シャンパン・ポルカ (音楽の冗談)

Johann Strauß II: "Champagner-Polka", Musikalischer Scherz

ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・シュネル「大急ぎで」

Josef Strauß: "Im Fluge", Polka schnell

ランナー：マリアのワルツ

Josef Lanner: Marien-Walzer

J.シュトラウス2世：オペレッタ「騎士パズマン」から チャールダーシュ

Johann Strauß II: Csárdás aus der komischen Oper "Ritter Pásmán"

NEW YEAR CONCERT 2024

ニューイヤークンサート2024

2024年

1/9 (火) 19時

サントリーホール

Tuesday, January 9, 2024 at 7 p.m.

Suntory Hall, Tokyo

料金：S¥9,000 A¥7,000 B¥5,000



©Ryotaro Kawashima

写真は一部、実際のメンバーとは異なっております

主催：KAJIMOTO 後援：オーストリア共和国大使館



お正月は爛熟、そして歌あふれるウィーン文化に酔うひととき

正月恒例、お約束のウィーン・リング・アンサンブルがやってくる！

元旦にTVでウィーン・フィル(VPO)のニューイヤーコンサートを観るとき同様、いや、元コンサートマスターのキュッヒルはじめ、この名楽団の首席奏者たちをはじめとする、VPOのエッセンスのような9人のアンサンブルを“ナマ”で聴くとき、私たちは何故これほどまでに気分よく酔うのだろうか？ それはとろとろに爛熟したウィーン文化を体現したシュトラウス・ファミリーらの娯楽芸術作を、これまたそのDNAをその身体に宿すVPOのメンバーたちが演奏するからだ。・・・と言ってはいささか短絡的だが、実際にはやはりそうなのだろう。

例えば、3拍子のワルツの2拍目が少し遅れることで、途端にあふれ出す“ウィーン”の雰囲気(舞踏会で女性がターンするときのスカートの動きに由来するらしい)。これがそのVPOおよびリング・アンサンブルの奥義であり、真似できるものではない。私たち日本人が“間”の静けさを作り出すように、それこそが固有の文化なのだ。

また今回の注目は、2024年に没後100年を迎えるプッチーニのメドレー。ここ数年、アニバーサリー年の作曲家のメドレーを演奏するのがリング・アンサンブルの恒例だが、イタリア・オペラ? プッチーニ? と言うことなかれ。VPOのメンバー(だった)ということは、ウィーン国立歌劇場で数限りなくオペラを演奏してきた“達人”たちであり、「歌」と「抒情」を生命とするプッチーニにおいて、彼らの最上の能力がどれだけ活かせることか。かつてウィーンのオペラで聴いた《ラ・ボエーム》や《トスカ》での弦や管のソロは名歌手顔負けの妙技だったことを思い出す。

よきお正月をウィーン・リング・アンサンブルとともに。

(A)

ウィーン・リング・アンサンブル Wiener Ring-Ensemble



ウィーンの旧市街を取り巻くこの街ならではののみごとな環状道路、“リング”にちなんで命名されたこのアンサンブルは、まさにウィーン音楽を演奏するために結成された。

2016年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の名コンサートマスターとして同団を率いたライナー・キュッヒルを中心に、ヴァイオリン2人、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ホルン各1人にクラリネット2人の9人編成で、ウィーン・フィルの腕利きの主要メンバーたちである。

ウィーン情緒の香り高いシュトラウス・ファミリーやツィーラー、ランナーたちのワルツ、ポルカの演奏は、ウィーンに寄せる彼らの愛情と誇りを痛感させ、聴く者をこの上ない幸福感で満たしてくれる。

ウィーン楽友協会での年末恒例のコンサート・シリーズでは、1999年以降、ウィーン・リング・アンサンブルの演奏会が毎年ブラームスザールで行われ、地元ウィーン子の絶賛を集めている。2002年夏には、ルツェルン・フェスティバルに招待された。

日本へは1991年に初来日し、引き続き1993年以降毎年のように来日。ウィーンでの「ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサート」に出演後、すぐに日本へ駆けつけてニューイヤー・コンサートを行い、本場の響きと香りをそっくり日本のファンに届けている。

1998年には長野オリンピック文化・芸術祭参加公演に選ばれ、現地で2回の演奏会を行った。その他、度重なるテレビ放映やCDで、日本でもすっかりおなじみの存在である。

2024年は32回目の来日ツアーとなる。

ウィーン・リング・アンサンブル メンバー

ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン) Rainer Küchl, *Violin*
ダニエル・フロシャウアー(ヴァイオリン) Daniel Froschauer, *Violin*
ハインリヒ・コル(ヴィオラ) Heinrich Koll, *Viola*
シュテファン・ガルトマイヤー(チェロ) Stefan Gartmayer, *Cello*
ミヒヤエル・ブラデラー(コントラバス) Michael Bladerer, *Contrabass*

カール=ハインツ・シュッツ(フルート) Karl-Heinz Schütz, *Flute*
アレックス・ラドシュテッター(クラリネット) Alex Ladstätter, *Clarinet*
ヨハン・ヒントラー(クラリネット) Johann Hindler, *Clarinet*
ロナルド・ヤネシツ(ホルン) Ronald Janezic, *Horn*

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

“kajinomusic”で検索! [YouTube](#) [Twitter](#) [@kajimoto_News](#) [@kajinomusic](#)

チケットぴあ <https://t.pia.jp>(Pコード: 252-443)

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

CNプレイガイド www.cnplayguide.com

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

(オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)

カジモト・イープラス



一般発売:
9/30(土) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 9/21(木) 12:00~9/24(日) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

●ご来場の皆様安心して聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。